

令和6年度「こもれび」総会



岡山赤十字病院ボランティア「こもれび」は、1998年5月から活動を開始し、今年で26年目を迎えます。発足当時は会員が400人少々いらっしゃいましたが、現在は23名で活動しています。

週3回早朝から活動して下さる方、ご家庭、お仕事の関係で週一度活動される方。季節ごとに院内の飾りつけをして下さる方。毎週お花を生けて下さる方。それぞれ活動日数は違いますが、貴重な時間を割いて活動して下さっていることに御礼申し上げます。そして、今後ともお力添えをお願いいたします。 会長 黒田 美紀子



4月1日付けで社会課長に就任しました井上と申します。社会課は未経験ですが、お役に立てられるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

「こもれび」は2020年には新型コロナウイルス感染拡大防止で活動中止となるなど、今日までいろんな出来事があったことと思います。人々が社会の動きや変化に順応せざるを得ない中、不安や戸惑いを少しでも和らげたり季節の風を吹き込んだりして患者さんやご家族の方に寄り添う活動は、病院にとって非常にありがたいです。

日々病院職員は医療従事者として患者さんやご家族の方に接しておりますが、どうしてもニッチな部分があり歯がゆさがあります。「こもれび」の皆さまには、温かいお気持ちと貴重なお時間を提供していただき、ニッチな部分にこれからも寄り添う活動をお願いいたします。

そう、木漏れ日の日差しのように・・・

社会課長 井上 育紀

院長ご挨拶



松井和子様
活動500時間 院長表彰

「こもれび」の活動のおかげで病院は大変助かっており、患者さんも皆さんに触れて安心しておられる方もいらっしゃると思います。

「ルールに対する適正なチャレンジ」について。多くの人を困らせないようにするためのルールによって、目の前

の人が困るようなことは避けたいものです。ルールの適用によって目の前の人困っている場合には、必要に応じてルールに対して適正なチャレンジができるようになります。それには、個人の成熟、組織の成熟が必要です。みなさんも、患者さんにとって安心とってもらうことが一番大切です。病院のルールだからとして、患者さんを困らせないように。患者さんへの思いを大切に、場合によっては、病院の規則をゆがめて対応していただいてもいいと思います。

院長 辻 尚志

＝ 緩和ケア病棟飾りつけ ＝



＝ 生花 ＝



藤原 孝子



深見 由紀子